

説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.11	行	7行目
事業名	情報通信機能整備		河川名	淀川、桂川、木津川中下流		
府 県	大阪、京都府	市町村	—	地先	—	

●現状の課題

破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

●河川整備の方針

①情報の提供、伝達システムの整備等  
人命被害を防ぐためには、住民が河川の状況に関する情報を的確に把握して、必要があれば迅速に避難することが重要である。このため、河川情報の提供システムの強化を図る。

●位置図



●具体的な整備内容

情報通信機能整備  
光ファイバー、CCTV、河川情報表示盤等の情報設備の整備を継続実施する。  
情報配信  
NHK等マスメディアへの情報配信

事業の数量 諸元等

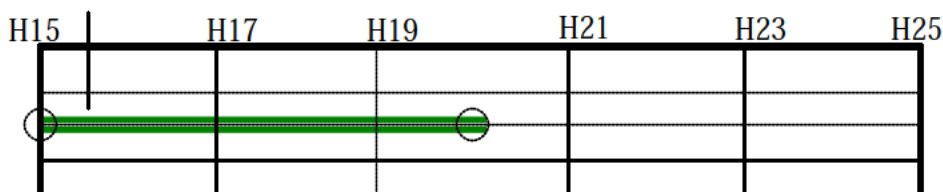
光ファイバー L= 60km  
CCTV設置 34箇所  
河川情報表示板 32箇所  
樋門遠隔監視 11箇所  
光センサー 36箇所

●事業費

全体事業費 約120億円  
・うち整備計画期間内事業費 約45億円

●スケジュール

継続実施



■ 検討  
■ 試行 委員会  
■ 実施

●平面図

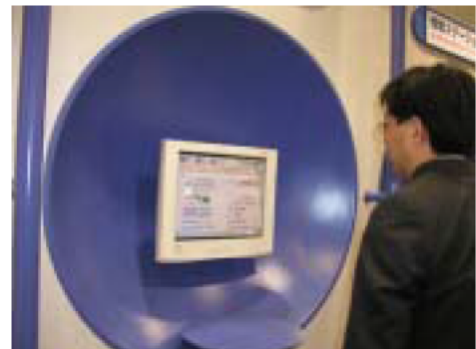
淀川管内における光ファイバー敷設状況



●河川情報表示板の例

地下街での情報提供 みちまちスクエア

河川情報表示板

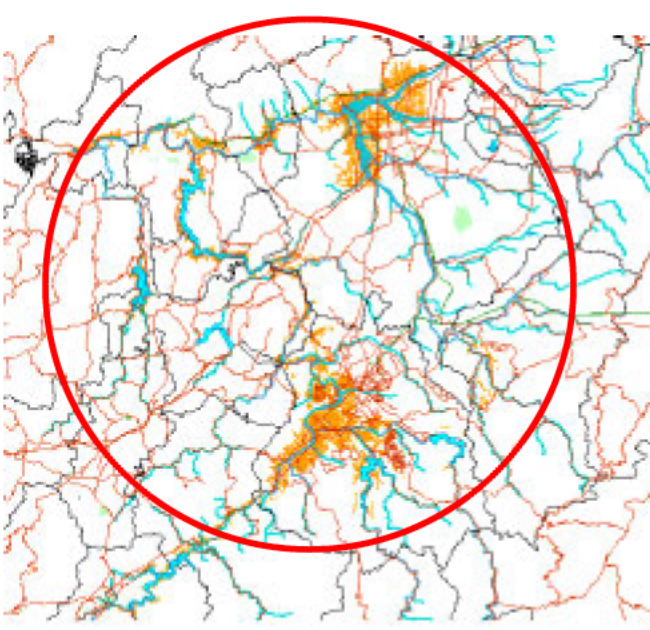


説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.18	行	13行目
事業名	情報通信機能整備		河川名	木津川上流		
府 県	三重県 奈良県・ 京都府	市町村	-		地先	-

●現状の課題  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

●河川整備の方針  
 ①情報の提供、伝達システムの整備等  
 人命被害を防ぐためには、住民、自治体、地下街やライフラインの管理者等が河川の状況に関する情報を的確に把握することが重要である。このため、河川情報の提供システムの強化を図る。

●位置図



●具体的な整備内容  
 情報通信機能整備  
 光ファイバー、CCTV、河川情報表示板等の情報設備の整備を継続実施  
 情報配信  
 NHK等マスメディアへの情報配信

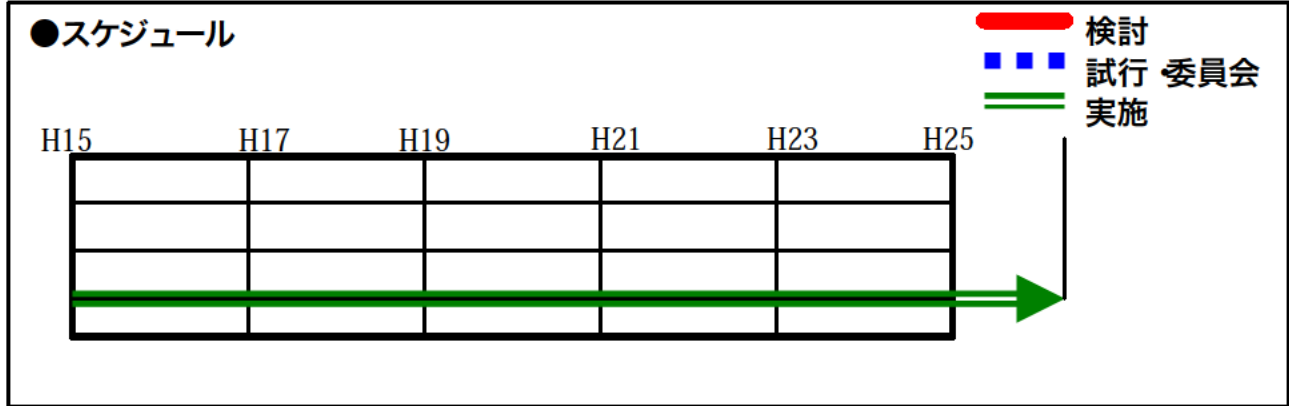
事業の数量 諸元等

光ケーブル敷設	107km
CCTV	51基
遠隔操作	19基
情報掲示板	2基

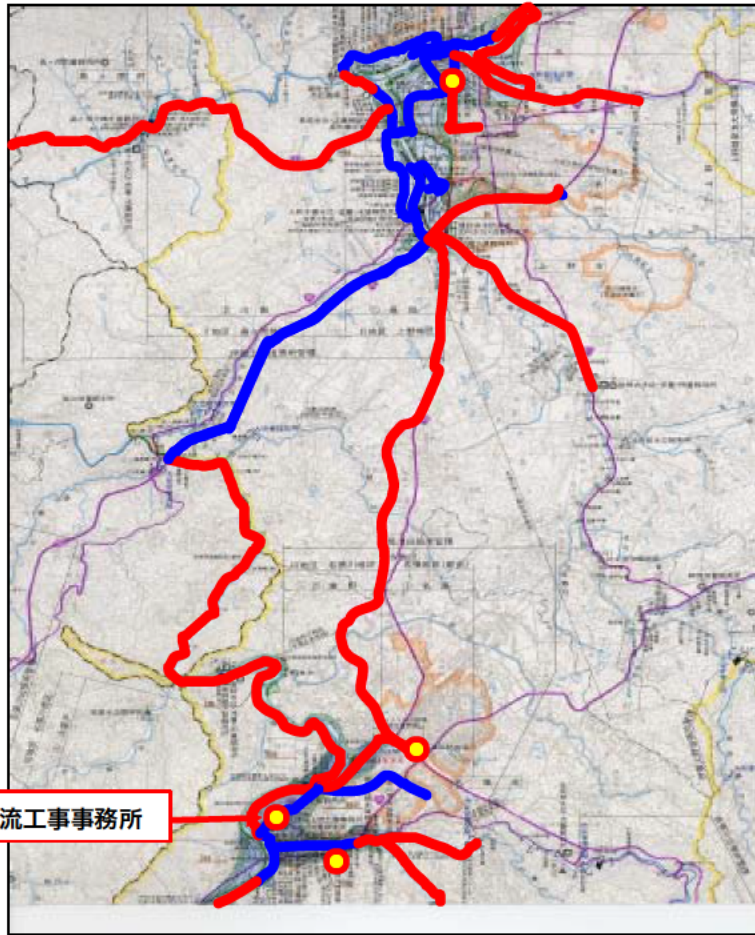
・うち整備計画期間内の数量 諸元等

光ファイバーケーブル	107km
CCTV	51基
遠隔操作	19基
情報掲示板	2基

●事業費  
 全体事業費 約 150 億円  
 ・うち整備計画期間内事業費 約 95 億円

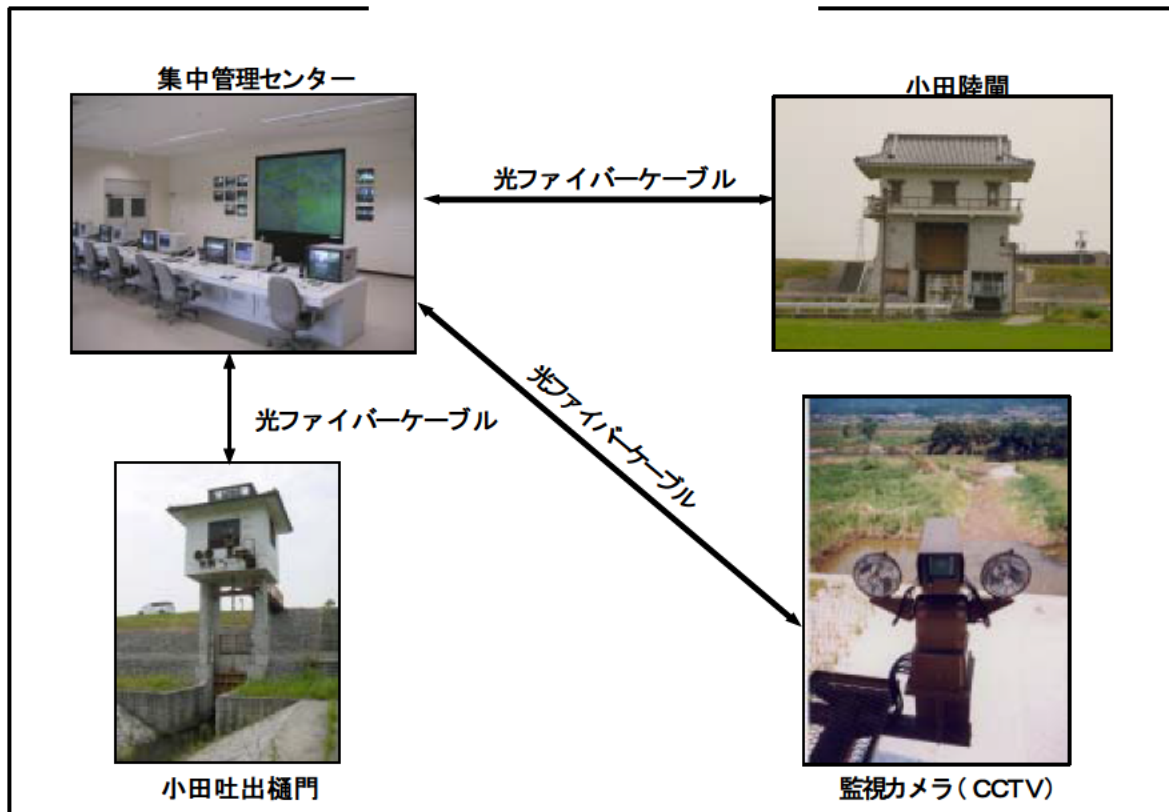


●平面図



- 既設 (Existing)
- 計画 (Planned)
- 事務所 出張所 (Office / Branch Office)

●事例



説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 3	ページ	18	行
事業名	情報通信機能整備		河川名	瀬田川、野洲川、草津川	
府 県	滋賀県	市町村	—	地先	—

**●現状の課題**  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

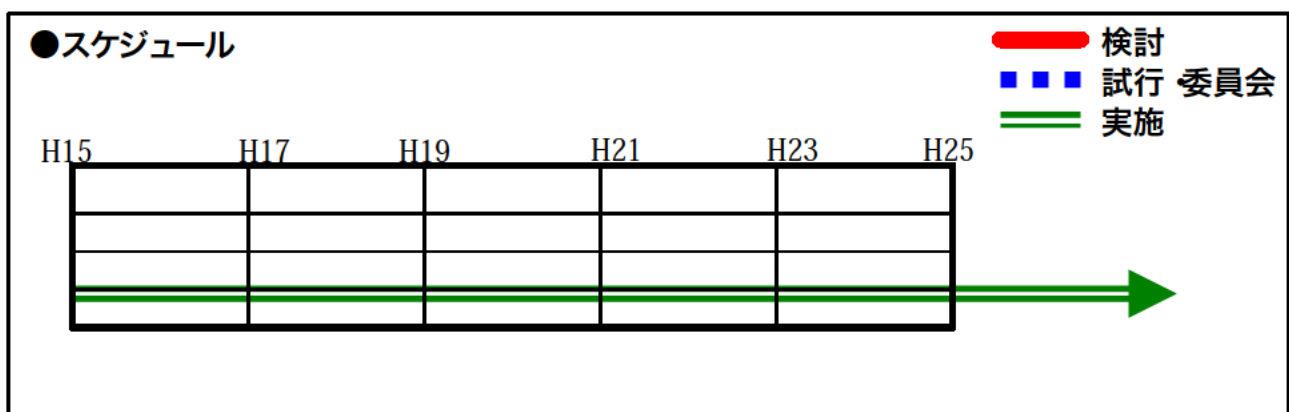
**●河川整備の方針**  
 ①情報の提供、伝達システムの整備等  
 人命被害を防ぐためには、住民、自治体、地下街やライフラインの管理者等が河川の状況に関する情報を的確に把握することが重要である。このため、河川情報の提供システムの強化を図る。



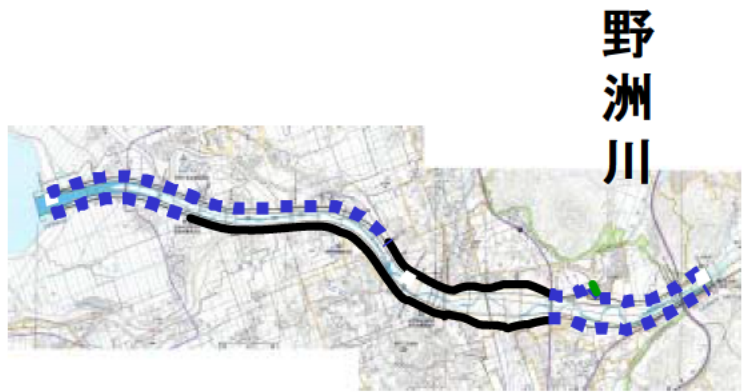
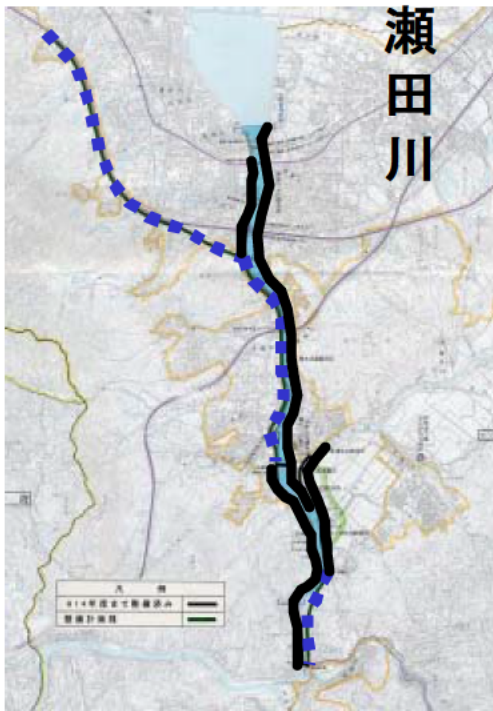
**●具体的な整備内容**  
**情報通信機能整備**  
 光ファイバー、CCTV、河川情報表示板等の情報設備の整備を継続して管内全域で実施する。  
**情報配信**  
 NHK等マスメディアへの情報配信

**事業の数量 諸元等**  
 光ファイバー L= 48km  
 CCTV設置 40箇所  
 河川情報表示板 6箇所  
 樋門遠隔監視 6箇所  
 光センサー 26箇所

**●事業費**  
 全体事業費 約45億円



●平面図



凡例

●整備済光ファイバー	
●未整備光ファイバー	

●事例写真

CCTV設置事例

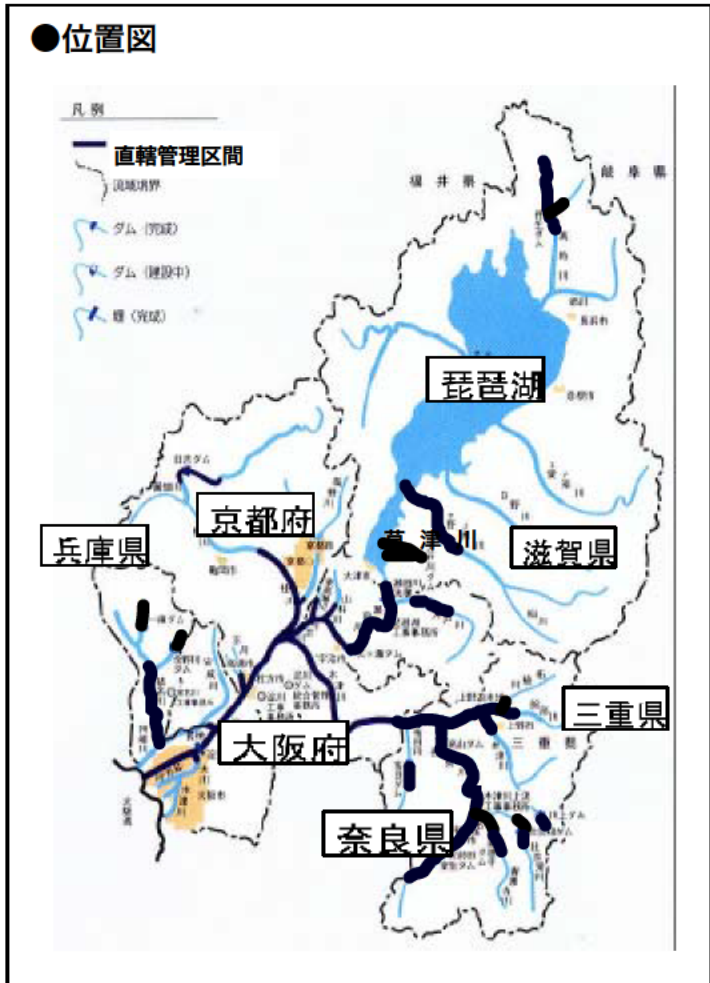
<瀬田川洗堰付近>



説明資料 第1稿)での記載箇所		章項目	5 3 1	ページ	p.11	行	7行目
事業名	情報通信機能整備		河川名	猪名川			
府 県	大阪府・兵庫県	市町村	-		地先	-	

**●現状の課題**  
 破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

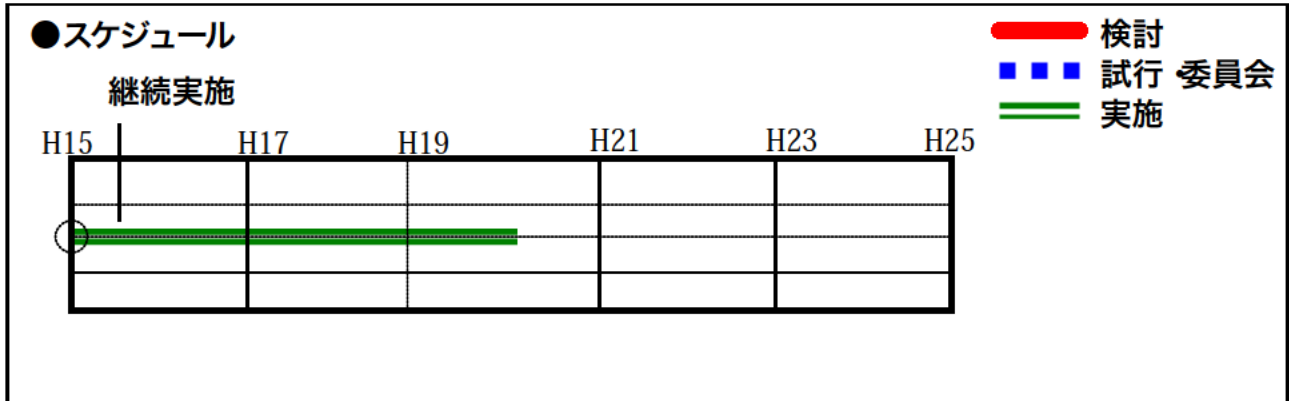
**●河川整備の方針**  
 ①情報の提供、伝達システムの整備等  
 人命被害を防ぐためには、住民、自治体、地下街やライフラインの管理者等が河川の状況に関する情報を的確に把握することが重要である。このため、河川情報の提供システムの強化を図る。



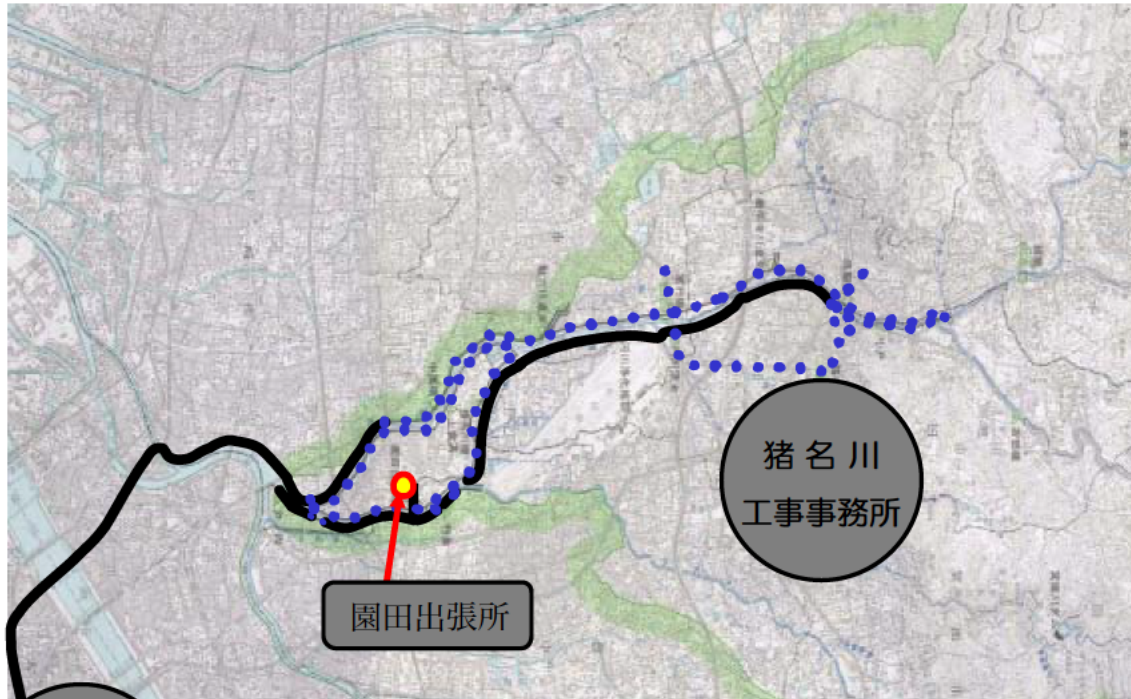
**●具体的な整備内容**  
 情報通信機能整備  
 光ファイバー、CCTV、河川情報表示板等の情報設備の整備を継続して管内全域で実施する。  
 情報配信  
 NHK等マスメディアへの情報配信

・事業の数量・諸元等  
 光ファイバー整備 約L=43km  
 CCTV 16基  
 情報表示板 5基  
 情報コンセント 14箇所  
 ・うち市町村等への情報伝達の数量・諸元等  
 光ファイバー整備 約L=10km

**●事業費**  
 ・全体事業費 約 66億円  
 ・うち市町村等への情報伝達事業費 約 8億円



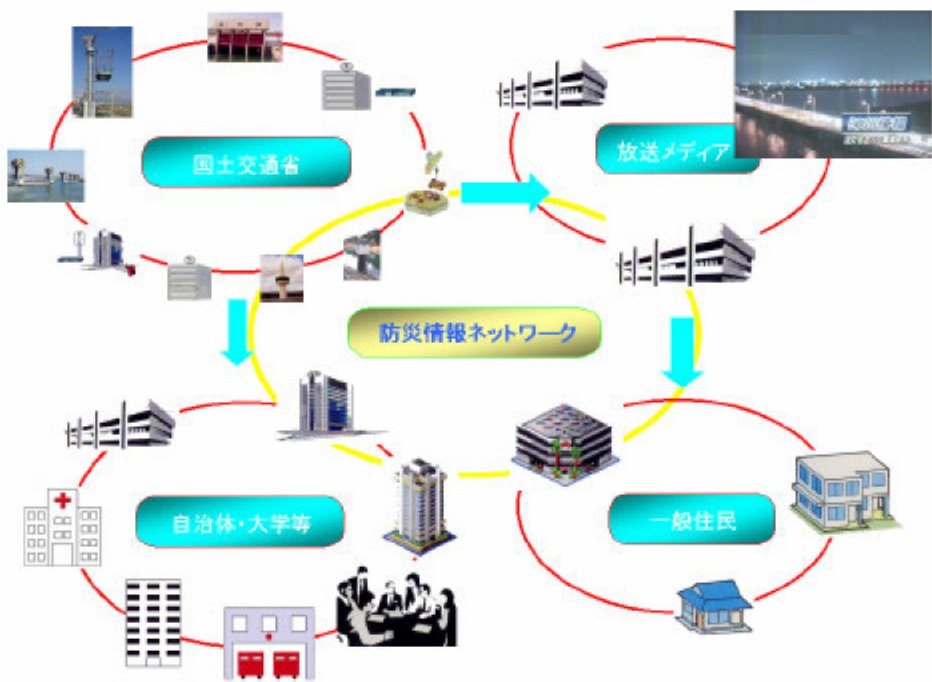
●平面図



・整備済光ファイバー	—————
・未整備光ファイバー	.....

●イメージ

マスメディア等への配信イメージ





説明資料 第1稿)での記載箇所	章項目	5 3 1	ページ	p.11	行	11行目
事業名	防災ステーションの整備		河川名	淀川水系		
府 県	流域 2府 4県	市町村	沿川市町村		地先	_____

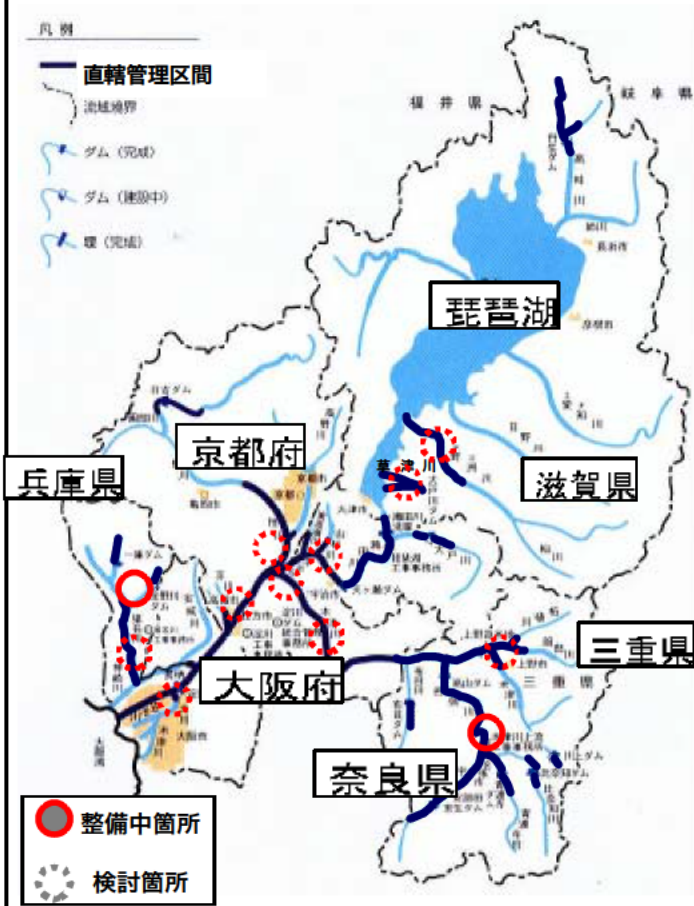
●現状の課題

破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

●河川整備の方針

○人命被害を防ぐためには、住民が河川の状態に関する情報を的確に把握して、避難の必要があれば 迅速に、適正な場所へ避難することが重要である。

●位置図



●具体的な整備内容

防災ステーション 緊急避難場所]  
出水時には水防活動の拠点となり、地震時には避難場所、支援活動の拠点や物資輸送の基地、ヘリポートとして活用でき、災害が発生した場合には迅速な復旧を行う基地の設置を検討

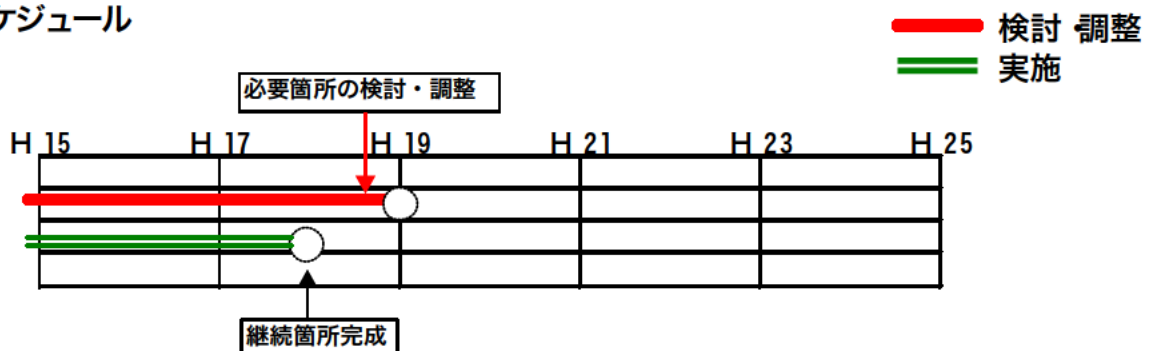
事業の数量 諸元等

- 継続整備箇所 2箇所  
猪名川 木津川上流)
- 新規検討箇所 約10箇所

●事業費

- 継続 2箇所  
全体事業費 約 34億円
- ・右整備計画期間内事業費 約 3億円

●スケジュール



●防災ステーション整備

災害時

水防センター  
対策指令室、待機室、  
水防資材保管庫救護  
室等

駐車場  
水防団等の駐車場

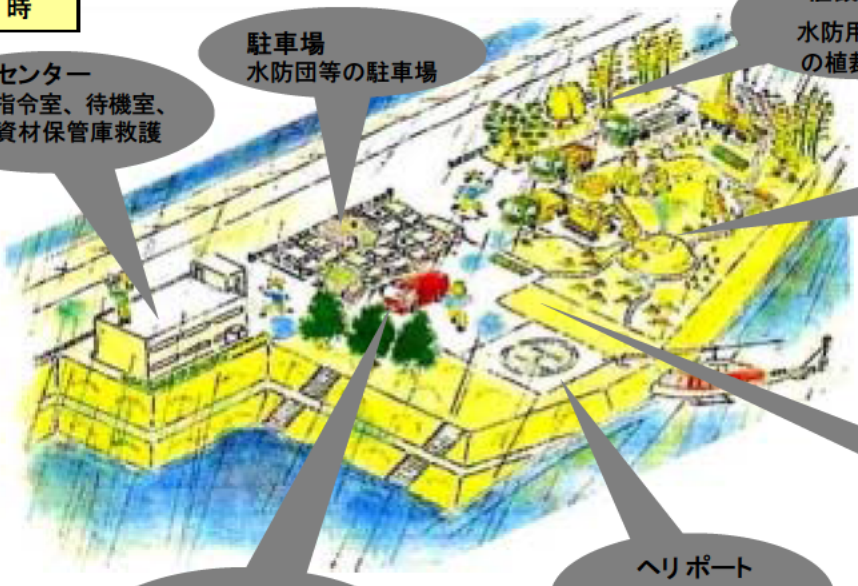
植栽場所  
水防用の竹木  
の植栽場所

備蓄ヤード  
水防用の鋼材、  
土砂、ブロック  
等の備蓄場所

作業ヤード  
土のう作りなど  
水防団の作業  
ヤード

ヘリポート  
緊急輸送用ヘリコ  
プターの離着場所

車両交換場所  
防災用各種機械、  
災害対策車等の基地



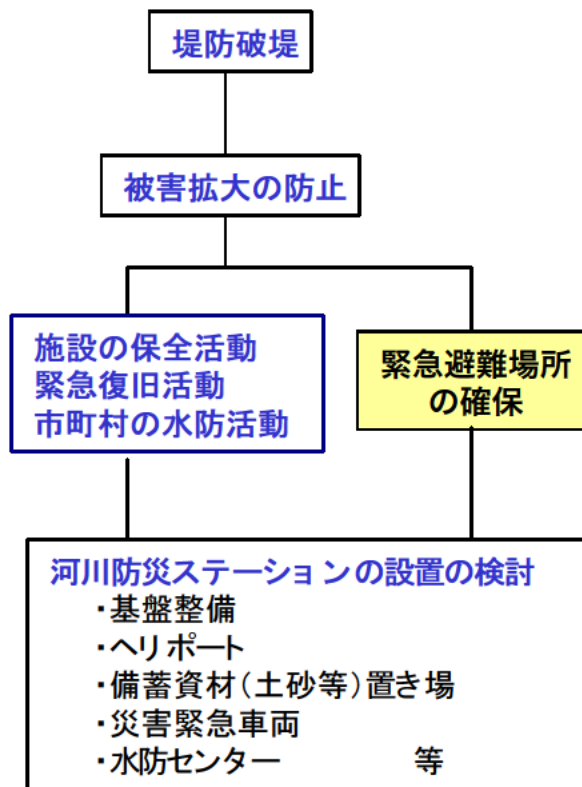
●河川防災ステーション

- 洪水時等における円滑かつ効果的な河川管理施設  
の保全活動及び緊急復旧活動を行う拠点  
（主に河川管理者）
- 市町村等の水防活動を円滑に行う拠点（主に市町村）

●検討箇所数

- 淀川・桂川・木津川下流 6箇所
- 木津川上流 2箇所（1箇所整備中）
- 新草津川・野洲川 2箇所
- 猪名川 2箇所（1箇所整備中）

●河川防災ステーション イメージ



木津川上流 蔵持地区



平時時



災害時